

平成26年4月22日

上ノ国町議会議長

若狭 大四郎 様

氏名 干場 清保



平成25年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成25年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名

農漁業調査研究

2 政務活動内容

- (1) 平成25年10月28日  
道の駅「三芳村」鄙の里  
千葉県南房総市川田82-2
- (2) 平成25年10月29日  
千葉県東安房漁業協同組合
- (3) 平成25年10月30日  
千葉県水産総合研究センター

3 政務活動成果

(1) 農業の6次産業化へ（道の駅「<sup>みよし</sup>三芳村」<sup>ひな さと</sup>鄙の里等）

千葉県の南房総は温暖な気候であるが、三芳村地域は内陸に位置するため周辺の町よりも冷涼である。三芳村は2006年に平成の大合併に伴い、近隣6町と合併し現在は南房総市となっている。上ノ国町と同じように、農業経営安定化を図るために取り組みをしている先進地であり、農地の集積や生産者の高齢化と共に後継者が育っていないため農業経営の脆弱化が進み所得の低迷が進んでいることから、「道の駅」を利用して販売場所を確保し、農業の活性化を図るため地元の生産物をそこで販売し、または加工品を生産するために加工施設を建設して加工品の販売に取り組んでいる。具体的には、三芳村の農業で多くを占めている酪農を活かしたものでは、三芳村農畜産物処理加工施設を建設し、そこで地元の酪農近代化推進協議会の協力による「有限会社みよし乳業」が低温殺菌牛乳やヨーグルト、アイスクリームなどの加工をして、製品化し道の駅で販売を行っている。

(2) 千葉県東安房漁業協同組合

漁業経営の安定化、収入の増あるいは安定により漁業後継者の確保をするために、従来の「とる漁業」から「つくり育てる漁業」の定着化を図ってい

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

## 別紙2

る。育てる漁業の一つとしてアワビ等の種苗生産、放流が行われている。放流し成長したアワビを回収しやすくするための工夫や、放流アワビが散らばるのを防ぐため工夫、運営管理するための組織作りなど、安定した漁獲を維持できる。

本町にも、栽培漁業総合センターと海洋牧場があり、このような運営管理ができれば、もっと漁業の活性化につながるのではと思いました。

### (3) 千葉県水産総合研究センター

海の資源を保つため、魚貝類の栽培「つくり・育てる」漁業を進めるためにヒラメ、マコガレイなどの種苗や海苔、貝類養殖の試験研究と調査が行われており、生産された種苗については、漁業団体へ配布されている。

センターでは、より低コストで安定した種苗生産の方法を確立するため、飼育法や魚病対策、餌料生物の安定生産等についても研究開発が行われている。

檜山管内の海域でも水産資源の枯渇が危惧されている中で、水産資源を持続的に利用しながら漁家経営の安定や沿岸域の水産資源の増大を図るためには、この様な研究が必要なのではないかと思いました。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

千葉県南房総市 道の駅「三芳村」 鄙の里



千葉県水産総合研究センター

